

第2章 雲仙市が目指す教育

1 雲仙市教育方針



雲仙市教育方針

雲仙市教育委員会は、広く市民の理解、協力、参画のもとに、「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」を推進する。

このため、人間尊重の精神を基調として、生涯を通じて学び、郷土を愛し、郷土の自然・歴史・文化に誇りを持ち、国際社会に貢献できる調和のとれた個性豊かな人間の育成を図る。

特に、教育に携わる者は、その使命感に徹し、自らの識見を高めるとともに、深い教育愛とすぐれた指導力を身につけ、相和して本市教育の充実発展に努める。

2 雲仙市教育方針の解説

【「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」について】

これからは、地域を支える人づくりとともに、人々のふれあいのあるまちづくりを推進することが求められている。

そのためには、地域の中で安心して子どもを育てることができる環境づくり、青少年が夢をもち健やかに育つ社会環境づくり、生涯にわたって学習できる環境づくり等を通じた、誇りあるふるさとづくりに努める必要があることを明確にした。

【人間尊重の精神の重要性について】

日本国憲法及び教育基本法が人間尊重の精神を基調としていることは、周知のとおりである。

そこで、雲仙市教育委員会は「人間尊重の精神」を強調し、個人の尊厳を重んじ、人格の完成をめざす教育を積極的に推進することとした。

【生涯学習の重要性について】

市民の学習意欲の高まりと多様化するニーズに応え、一人一人が心豊かで生きがいのある生活を創造できるように、生涯学習拠点を拡大、整備し、総合的な生涯学習体系への移行を図らなければならない。

そこで、「生涯を通じて学び」とすることにより、市民が生涯にわたって主体的、創造的に学習活動に取り組むことを期待するとともに、生きがいに満ちた生涯学習社会の実現に努めることを明確にした。

【郷土を愛する精神の重要性について】

郷土の自然・歴史・文化・風土を大切に次代に継承し、特色を備えた誇りあるふるさとづくりに取り組む必要がある。

そこで、郷土の自然、地域に残る固有の歴史・文化・風土を大切に守り育てるとともに、生活習慣や食文化等の「よさ」を後世に残し、誇りあるふるさとづくりに積極的に努めることを明確にした。

【国際社会に貢献できる調和のとれた個性豊かな人間の育成について】

政治・経済・文化・スポーツ等の様々な分野において、国際的な相互依存の関係が急速に深まる中で、国際社会の一員としての自覚と責任を身につけた心豊かな人間が、これまで以上に強く求められている。

そのため、21世紀を展望し、国際社会に貢献、活躍できる人材を育成するとともに、市民一人一人の個性を尊重し、徳・知・体の調和のとれた豊かな人間を育成することの重要性を明確にした。

【教育に携わる者の堅持すべき教育観について】

「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」の確立は、直接教育に携わる者の双肩に大きくかかっている。

教育は人と人との交わり、魂と魂とのふれあいの中で、人間の持つ可能性を引き出し、伸ばしていく極めて次元の高い営みであり、その成果は教育に携わる者自身の人格や識見の深さにかかっている。

したがって、「教育に携わる者は、その使命感に徹し、自らの識見を高める」とともに、「深い教育愛とすぐれた指導力を身につけ、相和して本市教育の充実発展に努める」ことを力説した。

3 雲仙市教育努力目標

雲仙市教育努力目標

- ふれあい、学びあい、認めあう生涯学習の推進
- 豊かな心と自ら学ぶ力をはぐくむ学校教育の実現
- 明るい社会をつくる人権・同和教育の推進
- 夢と希望をもち、たくましさ・やさしさを身につけた青少年の育成
- 郷土の豊かさはぐくむ芸術・文化の振興
- 健康で明るく、たくましい心とからだをはぐくむ生涯スポーツの振興
- 国際性豊かな人づくりの推進

4 雲仙市教育努力目標の解説

○ふれあい、学びあい、認めあう生涯学習の推進について

市民の学習意欲の高まりと多様化するニーズに応え、一人一人が心豊かで生きがいのある生活を創造できるように、生涯にわたって学習できる環境づくりの推進を図る。

このため、市民が生涯にわたって学び続け、生きがいのある充実した人生を送るための生涯学習社会の構築を図り、学ぶことを通しての地域連帯感の醸成に努める。

また、生涯学習拠点としての図書館、公立公民館等の生涯学習講座の整備、充実を図るとともに、読書活動の推進に努める。

○豊かな心と自ら学ぶ力をはぐくむ学校教育の実現について

自らを律し、社会の変化に自ら対応できる、心身ともに健やかな児童生徒の育成をめざし、望ましい教育環境のもとに、創意と活力に満ちた魅力ある学校教育の推進を図る。

このため、教育に携わる者は、使命感に徹し、常に自らの資質の向上に努めるとともに、明確な教育目標のもと、児童生徒一人一人を大切にしたい心のふれあいのある学校教育の充実を努める。

特に、心の教育・学力の向上・個に応じた教育や情報教育等への取組を充実、強化し、子どもたちの個性を伸ばすとともに地域の特性を生かした特色ある教育活動の推進に努める。

また、教育施設・設備の一層の充実を努める。

○明るい社会をつくる人権・同和教育の推進について

人権・同和教育は、人類普遍の原理である人間の自由と平等にかかわる重大な課題である。市民一人一人が、このことを自らの課題として受け止め、差別や偏見を許さない生活態度の確立を図らなければならない。

このため、生涯の各時期における人権・同和教育の課題を見だし、あらゆる機会、あらゆる場において、人権意識の高揚を図りながら、計画的、系統的な人権・同和教育の推進に努める。

○夢と希望をもち、たくましさ・やさしさを身につけた青少年の育成について

心身ともに健やかで、夢と希望をもち、たくましさ・やさしさを身につけた青少年の育成をめざし、学校・家庭・地域社会が一体となった実践活動が重要である。

このため、自立心やチャレンジ精神、リーダーシップなど、生きていくうえで必要な資質や能力をはぐくむための自然体験・勤労体験やボランティア体験など、豊かな体験学習の推進に努める。

また、活力ある地域社会づくりをめざして、家庭・地域の教育力を高め、

青少年が夢をもち、健やかに育つ社会環境づくりの推進に努める。

○郷土の豊かさをはぐくむ芸術・文化の振興について

市民一人一人の芸術・文化への関心を高めながら、先人から引き継いだ地域の歴史・文化・風土を大切に、次代に継承するとともに、香り高い地域文化の創造をめざして、特色があり、誇りあふれるふるさとづくりを推進する。

このため、芸術・文化に接する機会を充実するとともに、創作活動や発表の場を拡充し、地域文化活動への支援に努める。

また、地域に残る歴史的遺産等の発掘、保存、保護、継承に取り組むとともに、生活習慣や食文化の「よさ」を後世に残す環境づくりに努める。

さらに、郷土のかけがえのない豊かな自然環境を守り、次世代に残すために、環境教育活動の推進に努める。

○健康で明るく、たくましい心とからだをはぐくむ生涯スポーツの振興について

誰もが、心身ともに健康で明るく快適に暮らせることをめざして、体育・スポーツの生活化と競技力の向上を図り、「市民総スポーツ」を推進する。

このため、総合型地域スポーツクラブを創設し、充実を図るとともに、市民の健康・体力づくりと、心のふれあいのある地域社会づくりに努める。

また、児童生徒の体位・体力の向上、部活動の振興、学校給食の充実及び学校施設の安全管理に努めるとともに、学校・家庭・地域が連携した安全教育の推進を図る。

○国際性豊かな人づくりの推進について

国際化の進展に伴い、世界各国の人々とのコミュニケーション能力、国際社会を生き抜く力が求められている。

これらに対応するために、市民一人一人のライフステージに応じた外国語によるコミュニケーション能力の向上をめざすとともに、諸外国との交流活動の充実に努める。

このため、交換留学や外国人との交流及び外国語指導助手（ALT（*3））の活用等を通して、国際性豊かな人づくりにも取り組む。

5 雲仙市教育のキーワード

やさしさに満ちた教育【人・地域・環境】

○やさしさに満ちた教育【人・地域・環境】について

変わりゆく社会（流行）に無力であってはならないが、時代を超えて変わらないもの（不易）にこそ、人の「生」を豊かにする普遍的な価値があることを、私たちは決して忘れてはならない。それは、長い間人々が持つ「やさしさ」にはかならない。

私たちは、この「やさしさ」をまわりの人々や育った地域、また私たちの生活を育んでくれる自然や地球から学び、未来へ向けて歩んでいる。

そこで、雲仙市教育委員会においては、私たちの祖先から連綿と紡がれてきた「心」の根底に息づく「やさしさ」をキーワードに、『明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり』を目指すものである。

*連綿（れんめん）：長くひきつづいて絶えないさま

*紡ぐ（つむぐ）：よりをかけて糸にすること



【地域との交流（南串第一小・くわづる祭り）】